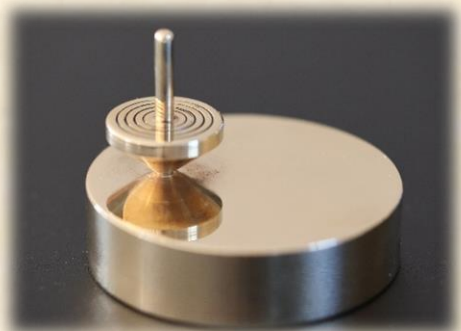


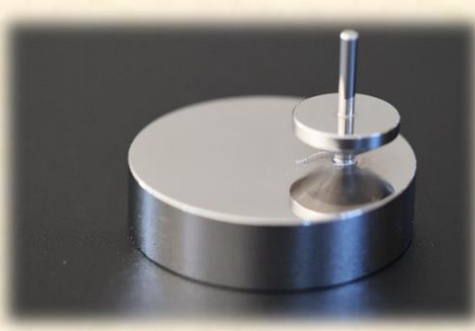


○旋盤の技術

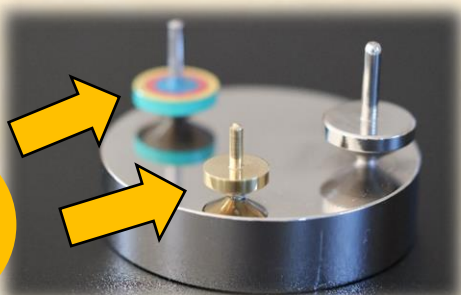
ペーパーウェイト(真鍮製)



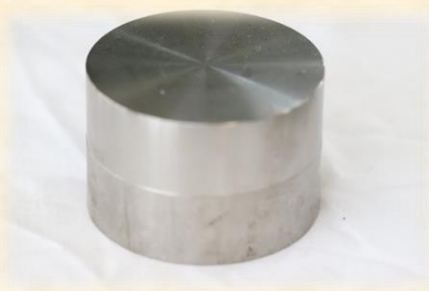
ペーパーウェイト(ステンレス製)①



ペーパーウェイト(ステンレス製)②

差し込み
加工

加工前



永遠に回り続ける駒・・・ではなく、下の台座（ウェイト部）と一体化になっています。
偏芯(中心をずらすこと)加工といい、旋盤加工技術の一つになります。

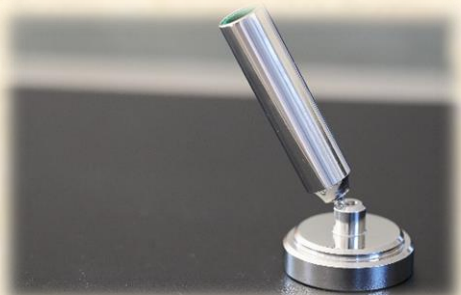
ペン立て(真鍮製)



角度を自由に調整できます



ペン立て(ステンレス製)



加工前



ペン立て製品の一例です。自由に角度を調整できるようセパレートタイプとして加工しています。
ペンの直径 12 ミリ位まで差し込みが可能です。

○今回は、旋盤の技術について紹介しました。※こちらは、見本として職員が作成したものです。
水工機械科では旋盤について基礎から学ぶことができます。

